


礼 拜 順 序

司 会  
奏 楽

|   |   |   |
|---|---|---|
| 前 | 奏 |   |
| 招 | 詞 | 詩編100:1-5   |
| 讃 | 詠 | 546   |
| 美 | 文 | 13 詩46篇   |
| 讃 | 歌 | 87A   |
| 聖 | 書 | 旧約 イザヤ 51:17-23 ( p. 1328 or 1147 )<br>新約 ルカ 22:35-46 ( p. 179 or 155 )           |
| 祈 | 禱 |   |
| 讃 | 歌 | 389   |
| 説 | 教 | 「御心ままに」   |
| 祈 | 禱 |  |
| 讃 | 歌 | 133   |
| 奉 | 献 | (献金・祈禱)   |
| 主 | の | (564)   |
| 頌 | 栄 | 542   |
| 祝 | 禱 |   |
| 後 | 奏 |   |
| 報 | 告 |   |

秋吉隆雄牧師

一 次 週 礼 拜 一

説 教 「ああ、エルサレム、  
エルサレム」

小井沼国光兄

聖 書 イザヤ6:8-13

ルカ19:41-44

讃美歌 90 195 526

交読文 14 詩50篇

一 本 日 の 集 会 一

コーヒー・タイム

求道者会 礼拝後 於 談話室  
教会に始めて見えた方、求道者  
(洗礼を受けておられない方)は  
お集まりください。

教会学校教師会

一 今 週 の 集 会 一

「楽しく讃美歌を歌う会」

18日(火) 午前10時

新しい讃美歌を歌います。多数  
ご参加ください。

教会学校夏期キャンプ

22日(土) - 24日(月)

於 剣崎「丸太小屋」

一 今 週 の 誕 生 者 一

一 集 会 状 況 一

男 女 計

主 日 礼 拜 8/ 9 16 51 67

教 会 学 校 8/ 9 9 23 32

一 牧 師 室 か ら 一

ペテロは最後の晩餐で主イエス  
から「あなたは今日、鶏が鳴くま  
までに、三度わたしを知らないと言  
うだろう」と挫折を予告された。  
ペテロとしては全身全霊で主イエ  
スに従い、それを喜び誇りにして  
いた、挫折の予告は全く心外で  
あった。しかし、予告の数時間後  
に、その通りになった。主イエス

# 週 報

1992年8月16日 聖霊降臨節第11主日

卷 13 20号

1992年度教会主題

「復活の主を見る」

聖句 すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」語り合った。

ルカによる福音書 24章31節～32節

- 目標 1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。  
2. 交わりを深めつつ、教会の新しい方向を求める。

が捕縛された時、弟子たちは皆逃げ去った。ペテロは、さすがに気になり遠く離れて大祭司の中庭までついていった。冷え込みの厳しい深夜、火が焚かれていた。ペテロは暖を取るため火の前に座った。火は赤々とペテロの顔を照らし出した。その顔を見て、ある女中が「この人も一緒にいました」と名指しした。ペテロはあわてて「わたしはあの人を知らない」と口走ってしまった。三度、同じことが繰り返されるが、三度目の時は「ガリラヤの者だから」と風采から言い逃れのできないように指摘された。ペテロは語気を強め「あなたの言うことは分からない」と答えた。その時、主イエスの予告されたように、朝を迎える鶏の鳴き声をした。主イエスはペテロを振り向き見つめられた。おそらく、ペテロの弱さを包み込むまなざしであったであろう。そのまなざしに触れ、ペテロは「主よ、ご一緒なら、牢に入っても死んでもよいと覚悟しております」と語った自分の言葉を思い出し、外に出て男拉ぎに激しく拉いた。楽天家

のペテロは、自分の意志と力で主イエスに従うことができると信じ突き進んできた。ところが、主イエスが捕縛され、死刑になる危険が迫った時、本能的に関わりを拒否して安全へと逃れた。見事に自分自身に挫折した。ペテロは復活の朝まで、のたうち回って苦しんだに違いない。

聖書はペテロの挫折を率直に伝えているが、この挫折は必要なことであった。復活した主イエスは三度「知らない」と言った三度に呼応して、三度ペテロに「わたしを愛しているか」と問われる。ペテロは「主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることをあなたはよく知っておられます」と答えている。死から復活した神を見、尚赦して立ててくださる主イエスに圧倒されている。ここでは、明らかに主客が転倒している。主イエスが「主体」で、自分はその主イエスに取り込まれ、全てを知られた「客体」であると告白している。自分に絶望しその深さの分、神の力が宿る逆説が信仰の出来事である。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29  
電話 045-833-5323、045-833-6616  
振替 横浜 9-13994

牧師 秋吉隆雄